

1330 | スペースデザイン論

3単位（通信授業1単位、面接授業2単位）

牧野良三教授、富谷智講師

授業の概要と目標

[空間の中の物語性の発見]

この科目では、空間を構成する造形的要素の表層的な意味を分析して、テーマに即した新しい空間造形の手掛りを探ることを目標としている。都市や自然の空間は多様な造形要素で構成されているが、視点や次元を変えてアプローチすると新しい意味をもった表象として認識することができる。特に時間的に変化する状況は、様々な物語のイメージの世界として受けとめることができる。

課題の概要

○通信授業課題〔観察と構成〕

身近な環境を空間として捉え、造形的表情と構成要素の関係を考察する。

○面接授業課題〔イメージ表現と空間構成〕

テーマの意味を読み解き、イメージの共有を図ることの出来る空間を提案する。

*課題については学習指導書『スペースデザイン論 平成29年度』を必ず参照する事。

授業計画

通信授業



面接授業

[通信授業]

観察を通して情報を整理し、空間の新しいイメージを表現する。

※通信課題を面接授業初日に必ず持参すること。

[面接授業]

第1日 前提講義と課題解説

第2日 コンセプトの作成と展開

第3日 中間プレゼンテーション

第4日 イメージの展開とイメージスケッチ

第5日 イメージドローイングと模型製作

第6日 制作と発表、講評

成績評価の方法

通信授業と面接授業の評価を総合的に判断する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 3年次

[履修条件] 「インテリアデザインⅠ・Ⅱ」の単位を修得していること（スペースデザインコース3年次編入学生を除く）。

[備 考] 工芸工業デザイン学科スペースデザインコース3年次必修科目。

スペースデザインコース3年次編入学生でも、「インテリアデザインⅠ・Ⅱ」を履修することが望ましい。

教材等

教科書：小石新八監修『スペースデザイン論』（武蔵野美術大学出版局 2003年）

寺原芳彦監修『インテリアデザイン』（武蔵野美術大学出版 2002年）

学習指導書：『スペースデザイン論 平成29年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017年）

その他

インテリア事典、映像イベント事典、現代デザイン事典などがコンパクトな参考書となるが、建築、インテリア、その他の雑誌類も新しい資料として役立つ。

身の回りの空間を見つめ直すためには、様々な作例の情報収集などにも注意しておく。